



港北区役所  
〒222-0032 港北区大豆戸町 26-1  
☎ 045-540-2323 (代表番号)  
☎ 045-540-2227

開庁日 なるべく電車・バスで来庁してください

月～金曜(祝日・年末年始除く) 8時45分～17時

第2・4土曜 9時～12時 <10月は12日・26日

(戸籍課・保険年金課・子ども家庭支援課の一部の窓口)

港北区のデータ

人口: 352,933人  
世帯数: 170,379世帯  
(2019年9月1日現在)



港北区ツイッター

@yokohama\_kohoku

イベント情報などを発信中



# こほく

No.264

「広報よこはま港北区版」を  
スマホで読む



マチイロ



マイ広報紙

## 鶴見川 生きもの図鑑

区内を流れる早淵川・矢上川・鳥山川・砂田川などの支流を含む鶴見川流域には、約196万人が住んでいます。そのような町中を流れる都市河川ですが、60種類以上の魚に加え、鳥や虫など、多様な生きものが見られる自然豊かな所です。

実際にどんな生きものが生息しているのか、その一部をのぞいてみましょう!



**アオサギ** (サギ科)

日本最大のサギです。翼を半開きにして日光浴をしているときがあります。



**キアゲハ** (アゲハチョウ科)

幼虫はハナウドなどセリ科の植物を食べます。パセリやニンジンも食べるので、家庭菜園などにも訪れます。



**オオタカ** (タカ科)

源流・上流域を中心に各地で見られ、鶴見川多目的遊水地周辺にもしばしば出没します。狩りの名手です。



**ギンヤンマ** (ヤンマ科)

飛ぶ力が強く、川辺のほか、池や沼などにも現れます。広い場所を好んで飛びます。



**ハグロトンボ**  
(カワトンボ科)

金属のように光り、黒い羽をヒラヒラさせて飛びます。近年増えてきているようです。



**カワセミ**  
(カワセミ科)

鶴見川のほとんどの区間で見られます。ダイビングをして魚を捕っている姿もよく見かけます。



**クロベンケイガニ**  
(ベンケイガニ科)

湿った泥っぽい場所を好みます。新羽橋から下流域の川辺の土手に穴を作って住んでいます。



**マハゼ** (ハゼ科)

鶴見川の下流域に多く暮らし、河口から14.5キロメートルの小机堰までさかのぼることが確認されています。



**メダカ** (メダカ科)

一時はほとんど姿を消しましたが、現在は放流で増えたと思われるものが、広く見られるようになりました。絶滅危惧種に指定されています。



**アユ** (アユ科)

毎年3月になると東京湾から遡上が始まります。支流では早淵川・矢上川・鳥山川などで確認され、早淵川・矢上川では産卵も確認されました。

**ボラ** (ボラ科)

下流域でジャンプする姿をよく見かけます。成長するにつれ、ハクオボコ→スバシリ→イナ→ボラトドと名前が変わる出世魚です。



**ニホンウナギ** (ウナギ科)

海で生まれ、海流に乗って日本までやって来て川を上ります。鶴見川では中・下流域でよく見られます。絶滅危惧種に指定されています。

### ～鶴見川との触れ合い活動～

身近にある鶴見川ですが、中に入る機会は少ないのではないのでしょうか。実際に川に入ると、豊かな自然を感じたり、生きものと触れ合ったりできます。

なお、区では小学校を対象に「港北水と緑の学校」を開催し、専門家の指導の下、川の近くで生きもの観察なども行っています。

日頃の一人ひとりの心掛けで、これからも鶴見川の豊かな自然を守っていきましょう。



港北水と緑の学校  
(小学生向け講座)の様子

### もっと深く学びたい人は

国土交通省  
**鶴見川流域センター**に  
行ってみよう!



所在地: 小机町2081 (JR小机駅から徒歩7分)  
開館時間: 10時～17時  
休館日: 毎週火曜、年末年始、設備点検日  
☎ 475-1998 ☎ 475-1999



### 川と触れ合うときの注意点

- 水辺に行くときはライフジャケットを着用し、子どもは保護者と一緒に行きましょう。
- 川の増水に気を付け、危険なときには近づかないようにしましょう。
- もしもに備えて、安全に避難する方法を確認しておきましょう。

橋の下での  
雨宿りは  
命取りです!

